



健康福祉分野 政策 4 「健やかな成長を支える子育て環境の充実」

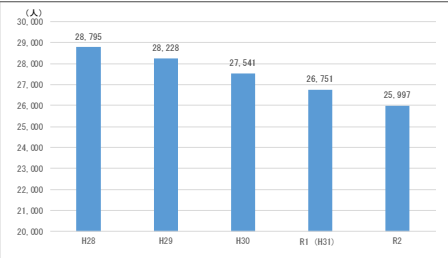
目指す姿

将来を担う子どもの健やかな成長を支える環境が整い、**子育て家庭**が安心して子どもを産み育てることができている。

【現状と課題】

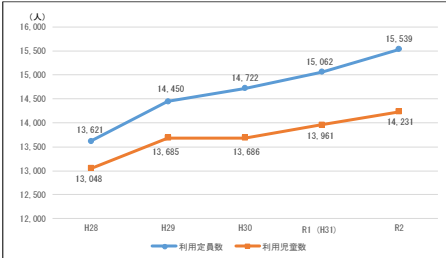
- 全国と同様に本市においても、出生児数は減少傾向にあります。共働きの世帯の増加等に伴い、子どもを安心して預けられる環境や多様な保育サービスが求められており、子育てと仕事を両立することのできる環境づくりが重要となっています。
- 幼児教育・保育の無償化や就労形態の多様化などにより、教育・保育施設の利用児童数が増加する一方で、円滑な施設運営のために必要な保育人材の確保が困難になっています。
- 核家族化の進行や地域とのつながりの希薄化などにより、身近に子育てに関して気軽に相談できる相手がいないため、悩みや不安を抱えて孤立する家庭の増加や親の子育て力の低下が懸念されます。
- 平成 30 年度（2018 年度）に実施した「姫路市子どもの生活に関する実態調査」によると、貧困線未満の世帯の割合は 11.8% となっており、こうした世帯の子どもは、経済的な理由により学習面や生活面などにおいて不利な状況に置かれてしまう傾向にあり、子どもの貧困問題への対応が課題となっています。

※関連データ：姫路市の就学前児童数の推移



(資料) 幼保連携政策課調べ（各年 4 月 1 日時点）

姫路市の教育・保育施設利用定員数と利用児童数の推移



(資料) 幼保連携政策課調べ（各年 4 月 1 日時点）

【目指す姿を実現するための方向性】

人

ア 保育人材の確保・育成

待機児童の解消や、多様な保育ニーズに対応するため、保育士の処遇改善、潜在保育士の再就職支援、中高生への保育の魅力発信などを通じて、保育人材の確保・育成を図ります。

地域

イ 身近な地域で支援を受けられる環境づくり

○ 子育てに関して身近に相談できる体制を整えるとともに、親子が気軽に交流できる場の提供や安心して外出できる環境づくりの促進、経済的負担の軽減などを通じて、ゆとりをもって子育てできる環境づくりに取り組みます。

○ すべての子どもたちが現在から将来にわたって前向きな気持ちで夢や希望を持つことができるよう、子どもの貧困対策やひとり親家庭に対する支援、児童虐待防止対策など、特別な支援が必要な子どもや家庭を支える取組を充実させます。

ウ 子どもの居場所づくりの推進

子どもが安心して遊び・学べるよう、児童館・児童センターや放課後児童クラブを充実させるなど、地域における子どもの居場所づくりを進めます。

活力

エ 子ども子育て分野における先進的技術の活用

教育・保育の質の向上、保育人材の負担軽減を図るため、ICT を活用した児童の園内生活の管理や健康に関する記録の電子化など、先進的技術の積極的な活用を図ります。

土台

オ 質の高い教育・保育サービスの充実

○ 安心して子どもを預けることができるよう、教育・保育施設を計画的に確保するとともに、延長保育や一時預かり、病児・病後児保育など多様な保育サービスを提供することを通じて、教育・保育サービスの充実を図ります。

○ 教育・保育施設等の適正な運営を図るとともに、保育現場が抱える課題に対応した研修を行うなど、教育・保育サービスの質の向上を図ります。

資料 1-4

市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること

市 民	<ul style="list-style-type: none">➤ 男性も積極的に子育てに取り組みましょう。➤ 子育て家庭同士の交流に参加しましょう。
地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none">➤ 地域全体で子どもや子育て家庭を見守りましょう。➤ 子どもや子育て家庭が地域の人達と交流できる環境を作りましょう。
企業・団体	<ul style="list-style-type: none">➤ 育児休業の取得促進、時短勤務の導入など、働き方改革によるワークライフバランスを推進しましょう。➤ 授乳室やおむつ替えスペースの設置、企業内保育所の整備など、子育てしやすい環境づくりに努めましょう。